

株主・投資家の皆さまとともに

持続的な利益ある成長を目指して

日産はグローバルな自動車市場において、トップレベルの業績を目指し、高い収益性を実現するための計画を進めています。

そのために、日産の進歩や提供できるさまざまな価値を、誠実に伝えることを重視しています。株主・投資家の皆さまをはじめとした、ステークホルダーの方々の厳しい視線と期待に応えること。それが、価値を創出していくための最善の方法と考えます。

**透明性の確保と
3年間にわたる配当計画の公表**
2005年度29円、2006年度34円、
2007年度40円の配当を予定

日産は常に、株主・投資家の皆さまとの間に高い透明性を保ち、皆さまの期待に応えることに力を注いでいます。

経営においてはCEO（最高経営責任者）が経営責任と説明責任を負い、一貫性をもって執行しています。同時に、日産の目標や行動を広く社会に伝え、高い透明性を保っています。これにより、株主・投資家の皆さまが、日産がどのような企業であるかを理解し、短期および中・長期においても、何を目標しているのかを正確に把握していただけると考えています。2004年度からは四半期財務情報の開示内容を前年度より詳細なものとし、よりタイムリーな業績開示を行うようにしました。

日産自動車（株）は、向こう3カ年にわたる配当計画の発表を継続的に行っています。「日産バリューアップ」においては、1株当たりの年間配当を、2005年度に29円、2006年度に34円、2007年度に40円とすることを約束しました。株主・投資家の皆さまが、より確かな投資判断ができるよう採用した施策ですが、同時にこれは、日産の成長を約束することを意味します。

**株主・投資家の皆さまとの
積極的なコミュニケーション**
2005年より株主総会は一層大きな会場へ

株主・投資家の皆さまは、持続可能な社会を、ともに創造していくパートナーです。相互理解を促す双方向のコミュニケーションを目指し、さまざまな機会を設けています。

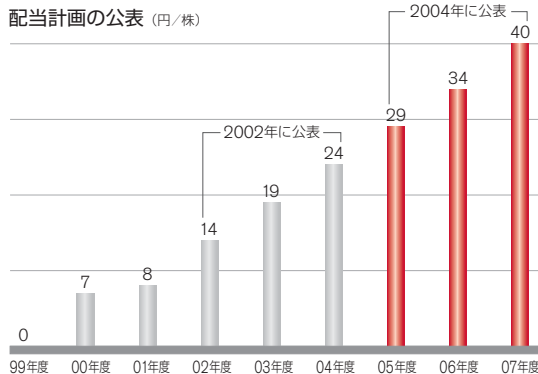
日産自動車（株）の株主総会は、2005年から、ここ数年の出席株主数の増加に対応し、従来よりも収容人数の広い横浜市の会場へ移転して行います。開催地の東京都から横浜市への移転を判断するにあたっては、株主の皆さまに事前に書面でアンケートを行い、多くの方々から了承していただきました。総会では例年、全時間の3分の1を経営者層からの報告に、3分の2を質疑応答にあてています。株主一人当たりの発言時間を20分としていますが、それ以外の制限はなく、発言の順番も整理券の配布による先着順としています。時間の関係で発言ができなかった場合には、書面で質問することができます。



日興コーディアル証券と共催した個人投資家セミナー（日本）



株主の皆さまとの懇談会（日本）



また総会終了後には、経営者層が出席する懇談会を行っています。オープンでフェアな意見交換の場を持つことを狙いとしています。

日常的なIR*活動でも、IR担当者が経営者層と密に連携をとりながら、情報発信を行っています。経営トップの意思を迅速かつ的確に、株主・投資家の皆さまにお伝えするよう努めています。

*IR：インベスターリレーションズの略。株主・投資家向け広報

SRI（社会的責任投資）について

企業の環境・社会に対する活動も重視して投資先を選定する社会的責任投資（SRI）の考え方が、急速に広まっています。日産は、財務状況だけでなく、環境面や社会性への配慮についての行動も、株主・投資家の皆さまへ開示する責任があると考えます。そこで日産と社会の持続可能な発展を目指す考え方や取り組みをサステナビリティレポートとしてまとめ、2004年から発行しています。これにより、皆さまとの対話がさらに促進されることを願っています。

個人投資家の皆さまの期待に応える

個人株主数は3年間で約7割増加

機関投資家の皆さまの期待と同様に、個人投資家の方々の期待にも、もっと応えていきたいと考えています。自分や子どもの将来のために、収入の一部を投資したいと考え、貴重な投資先として日産に信頼を寄せてくださるのが、個人投資家の方々です。

2002年には、より少ない資金で日産の株を保有いただけるよう、株式の売買単位を1,000株から100株に引き上げました。これに加えて、先々の配当計画を公表し、増配を約束したことも評価され、日産の個人株主数は大幅に増加しました。2005年3月末時点では、3年間配当計画の公表開始前の2002年3月末時点と比較して、約7割の増加、2004年3月末と比較すると4割近くの増加となっています。

また、情報開示や対話の機会として従来よりアナリストミーティングを行っています。ここ数年は、ミーティングの対象を株式の購入を検討中の一般個人の方まで広げ、個人投資家セミナーを開催しています。社長のカルロス・ゴーンをはじめとする経営者層が、日産の再生の経緯や成長性、社会貢献や環境への取り組みなどについて紹介したうえで、個人投資家の方々との対話を図っています。